

レベル1 基礎の基礎 接続を覚える。

助動詞は、どの活用形にくっつくか決まっています。まずはそれを確認すること。

未然形接続 上に動詞・形容詞・形容動詞・助動詞の未然形をとる助動詞

む・ず・むず・す・る・じ・まし・(で)・まほし・り

連用形接続

き・つ・ぬ・けむ・たし・けり・たり

終止形接続 ただし、ラ変は終止形が「り」という変なやつなので、連体形になる

らむ・まじ・めり・なり・べし

連体形接続

なり・たり・ごとし コロ助の「なり」

已然形接続

り サ末四已

レベル2 基礎 助動詞の意味 訳を覚える

る・らる 受身・尊敬・自発・可能 れる・られる

自発は上に「思ふ」など

可能は打ち消しとセットになることが多い

「れ給ふ」「られ給ふ」は尊敬ではない。

す・さす 使役・尊敬 使役⇨せる・させる 尊敬⇨とっても意味が通じる

「給ふ」とセットになっていない⇨使役

「給ふ」とセット⇨使役か尊敬か見分ける。 尊敬なら「せる・させる」の意味がいら

ない・尊敬なら帝か宮(一重尊敬)

ず 打ち消し ない

「ぬ」は打ち消しでない。終止形は「ず」。

「ぬこと」「ぬを」⇨連体形なら「ぬ」

なり・たり 断定 だ

コロ助なり。コロッケなり。⇨断定 名詞⇨連体形接続

「とても」をつけて意味が通じるなら形容動詞 いと静かなり

時制

き・けり 過去 た

き〓直接見た、自信のある出来事

けり〓ひとから聞いたこと 詠嘆のケースもあり。

つ・ぬ 完了 た・てしまつ

たり・り 存続・完了

原義は「てあり」〓ている〓進行形 存続

雪などは「降りたり」〓降った状態でまだ消えずにある〓降った〓完了

む・べし 推量 だろう

一人称が主語〓つもり・くよう〓意志

二人称が主語〓のがよい〓適当・（一緒に）しよう〓勧誘

三人称が主語〓だろう

連体形るとき〓ような〓婉曲

レベル3 未来の輪

重要・これはすべて未来の助動詞、つまり右の四つの訳が生きる。

真ん中 む

右 べし + 強め 意味が強くなる

右下二つセット らむ + 現在 ている

けむ + 過去 た

左下二つセット めり + 目・見あり 自分が思うには〓だろう ようだ

なり + 音あり・鳴る 音を聞いたところ〓だろう

左 まし + 反実仮想 ありえないこと だろう

例 世の中に絶えて桜のなかりせば春の心はのどけからまし

左上 三つセット現代語グループ まほし・らし・たし

右上 反対語 じ + む の打ち消し 職能は「打消」

まじ + べし の打ち消し 職能は「打消」

なり の見分け

男もすなる日記といふものを女もしてみむとてするなり。

男もするといふ日記といふものを女もしてみようとするのだ。

連体形＋なり＝断定・コ口助なり 終止形＋なり＝伝聞推定（未来の輪）

レベル4 助動詞の活用

省略・文法書を見ましよう。

まず、終止形・連体形・已然形だけ覚えること。

レベル5 助動詞の組み合わせ

過去完了 てしまう＋た＝てしまった

つ・ぬ＋き・けり

咲きにき。

咲きにけり。

咲きてき。

咲きてけり。

き・けり＝連用形接続なので、連用形

過去進行形 ている＋た＝ている

たり・り＋き・けり

咲きたりき。

咲きたりけり。

咲けりき。

咲けりけり。

き・けり＝連用形接続なので、連用形
たり・り の職能は完了かもしれない

未来完了形

つ・ぬ＋む・べし

咲きなむ。

咲きてむ。

咲きぬべし。

咲きつべし。

む・べし の訳・職能は四つの中のどれか＝レベル2

この時の「つ・ぬ」の職能は必ず「強意」。そう答える決まり。

その他には次のもの

咲きぬらむ らむ 現在推量

咲きつらむ

咲きなまし まし 反実仮想
咲きてまし

未来進行形

たり・り+む・べし

咲きたるべし。

咲けるべし。

咲きたらむ。

咲けらむ。

べし は終止形接続だが、「たり・り」はラ変型なので、連体形。

む・べし の訳・職能はレベル2の4つ。

たり・り は完了かもしれない。